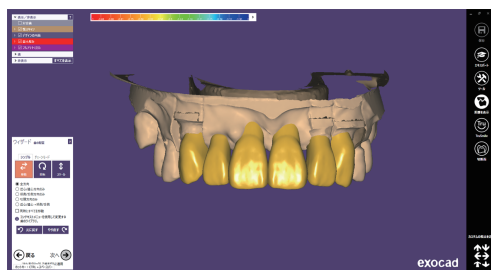
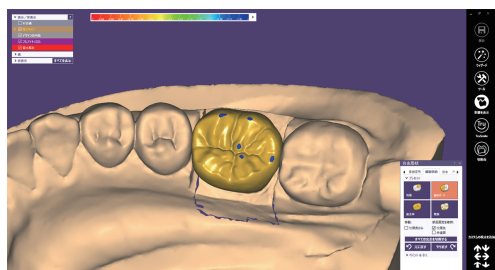
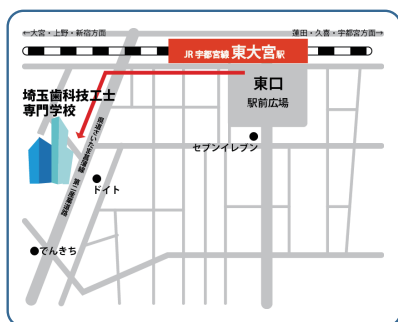


2020年度

一般社団法人 埼玉県歯科技工士会

歯科技工士生涯研修事業(自由研修課程)

- 講 師: 難羽 康博 先生 (アスパイア代表)
- 演 題: 第1部 『歯科技工の現状と未来』
～デジタルトランスフォーメーション(DX)が進みつつある中で～
第2部 『これからは、CADデザインが重要になる』
- 日 時: 2020年7月12日(日)13:00～17:00 (受付開始12:30)
- 会 場: 埼玉歯科技工士専門学校 (講義室 3階)
埼玉県さいたま市見沼区東大宮1-12-35 (最寄駅: JR東大宮駅 徒歩約6分・下記地図参照)
- 参加費: 会員および学生ともに無 料
未入会者 2,000円(当日徴収をお願いします)
※当日申込みでご参加できます
- 定 員: 60名 (会員は歯科技工士生涯研修カードを必ずご持参下さい)
※定員数に達した際は立ち見をご了承下さい



主催: 一般社団法人 埼玉県歯科技工士会

後援  公益社団法人 日本歯科技工士会

開催コード: 95-51501 (自由研修課程 8 単位)

後援  厚生労働省

※地震・台風・津波・その他の天災地変や、伝染病・火災・ストライキ・テロ・戦争などにより開催が困難と判断した際は、開催2週間前までには、開催中止および延期のご案内を本会ホームページに於いてご案内申し上げます。

Nanba Yasuhiro 難羽 康博



講師：難羽 康博 先生



【第1部】『歯科技工の現状と未来』

～デジタルトランスフォーメーション(DX)が進みつつある中で～

歯科界におけるC A D / C A M化の進行と広がりが劇的に進んでいます、A I (人工知能)・ロボットをはじめとする一般社会のI T化(デジタル化)には驚くべきものがあります。

また、このI T化による文化の変化(評価社会化・フリクションレス化)も進んでいます。

歯科界は特殊な狭い社会といえども、一般社会の変革は当然、受けることになりますので、知らずに済ませる、というわけにはいきません。

そして、A Iによって歯科技工という職業がなくなるのではないか、という不安を持っている人もいます、まずは現状を知ることが必要だと思います。

【第2部】『これからは、C A Dデザインが重要になる』

歯科技工のC A D / C A M化が今までと異なるのは、設備投資額が高額であること、そして毎年維持費あるいはライセンス料、ソフトウェアのアップデート料が掛かることです。

高額な設備(機器)も数年で新機種への買い替えが迫られます。

これらを踏まえ、また「働き方改革」も考慮すると、業務の効率化・高利益率化は必須のことです。

また、ジルコニアの製作において築盛が減ってステイン法が増えており、シンタリング後の修整が少なくなるような正確なデザインが求められてきます。

つまり、「C A Dができる」が特別ではなく、「C A Dが速くてうまい」がアドバンテージ(優位性)になります。

当セミナーにおいて、現在の、私のC A Dデザインのやり方・考え方をデモでお見せします。

【講師How to live】

- ・島根県歯科技工士学校卒業
- ・地元の歯科医院勤務後、上京
- ・「咬合」に興味を持ち、ひたすら勉強する。
- ・桑田正博研修会シニアコース修了
- ・国際デンタルアカデミーDTS13期修了
- ・早稲田歯科技工トレーニングセンター3期修了
彫刻部門1位
- ・臨床経験後、早稲田歯科技工トレーニングセンター
常勤の主任インストラクターに就く
- ・咬合と顎関節症の勉強が高じて「東京整体療術学
院」通学・修了。整体師として実務に就く
- ・早稲田歯科技工トレーニングセンター戻り
統括マネージャーに就く
- ・早稲田歯科技工トレーニングセンターCADクラス
インストラクターに就く
- ・ストロマンジャパンのCAD/CAMスペシャルテクニカル
サポートに就く
- ・2017年デンタルCADデザイントレーナー(アスパイア)
として起業

【講師文献】

- ・QDT誌:「歯科技工士のための臼歯の咬合」1994年4月号掲載
- ・QDT誌:「歯科技工士のための前歯の咬合」1994年5月号掲載
- ・QDT誌:「『教える』について」2000年2, 3, 4月号掲載
- ・QDT誌:2001年4月号のマスターピースに掲載
テーマは歯型彫刻
- ・月刊歯科技工誌:「歯型彫刻の”4つの目的”を考える」
2013年11月号掲載
- ・QDT誌:「『CAD/CAM時代』とは、どんな時代なのか」
2017年9月号掲載
- ・月刊歯科技工誌:「C A Dデザイン入門」
2018年2月号～7月号連載
- ・日本歯科技工士会広報誌『日本歯技』
「デンタルCADソフトexocad用オリジナルアナトミー制作法」
2018年12月号
- ・ホワイトクロスーDr遠山のラボ散歩② (インタビュー)
<http://urx2.nu/JGwJ>
- ・QDT誌:「座談会 Virtual Articulatorの到達点と未来展望
後編:ディスカッションで探るVirtual Articulatorの現在と未来」
2019年11月号掲載